

平成 24 年度 第 1 回相談支援担当者研修会

静岡県障害者就業・生活支援センター連絡協議会

〒421-1211 静岡市葵区慈悲尾 180 障害者就業・生活支援センターさつき 内

助成事業の概要

この事業は平成 24 年度における 1 回目の相談支援担当者研修会として企画致しました。

静岡県は 8 つの障害保健福祉圏域に分かれており、産業構造、雇用環境、生活環境（風土）がそれぞれ特徴的で大きな違いがあります。各センターはこの障害保健福祉圏域内の就労支援の中心となって活動していますが圏域外にその取組状況はあまり知られていませんでした。そこでこの相談支援担当者研修会では各圏域で特徴ある取組やそれを生かした相談支援事例を報告し合い優れた点を学びます。相談支援担当者にとっては相談支援技術の向上につながり、参加者にとっては圏域の特徴、他圏域の状況を知ることで新たな取り組みのきっかけになると思います。報告後のグループワークでは報告された事例を基に相談支援の進め方や解決策を探ります。これは今後の相談支援のヒントとなり、社会資源の開発や行政機関への政策提言にもつながります。障害者就業・生活支援センターだけの連絡協議会は全国的にもまだ数県のみと聞いています。継続に活動していくことでこの分野の先進地域となることを目指します

- ・開催時期 平成 24 年 8 月 23 日
- ・開催時間 午後 1 時 30 分～午後 4 時 30 分
- ・開催場所 静岡県総合社会福祉会館 601 会議室
- ・参加者 静岡県内 8 つの障害者就業・生活支援センター相談支援担当者（就業担当・生活担当）
障害者就業・生活支援センター運営法人関係者

行政機関（県）担当者（労働分野・福祉分野）

・内容

会長挨拶

来賓挨拶

第 1 部 報告

「困難事例の報告」センターが抱える解決策のわからない事例について報告

各センター 5 分 × 8 センター

～休憩（～第 2 部 グループワーク

出席者を 3 グループに分け第 1 部で出た困難事例を基に今後の支援の仕方や解決策を探る。

講評

連絡協議会役員、来賓、行政担当者より好評を頂く。

事業の成果

各センターが現実に抱えている困難事例とその事例を使ったグループワークを組み合わせた研修会とした。報告ではどのような相談がセンターに寄せられているのかどのように支援しようとしているのか、困難となっている要因は何か？相談員がどんなことで悩んでいるのかよくわかる内容であった。報告を聞くことで同じようなことで悩んでいるのか、自分だけではないという相談員共通の思いを持つことができ、より連帯感が深まったのではないかと感じた。また支援の視点や方法については、センターによって異なることもあるのだと感じられたことも成果の 1 つであると思う。

グループワークでは、報告事例を使ってグループで支援方法を考えることを行ってみた。3 つの

グループに分かれて進めたが日頃からケース会議等でグループワークの経験があるだけに各グループとも進行、記録、発表の係分担から意見交換までスムーズに運んでいたようである。報告には出てこない情報に対しては想像力を働かせ支援の方法を考えたりユニークな意見も多く聞かれた。当日は、センター業務と関係の深い静岡県の経済産業部雇用推進課と健康福祉部障害福祉課からそれぞれ 1 名オブザーバーとして担当者の参加をいただいた。グループワークにも入っていただき一緒に支援方法等を考えてもらうことにした。日頃は直接相談にあたることはないだけに今までにない経験ができたのではないかと思う。終了後の感想でもこのことが述べられていた。

センターでの相談支援の取り組みを生々の声で聞いていただいていたことで今後の県行政に活かしていただけるものと期待している。

当会の会長、副会長（1 名）にも参加していただき、より締まった研修会にすることができたのも良かったと思う。

初めての試みであり手探りの感があったことは否めない。全センターから参加者が集まってくれたが各センターの就業支援担当者、生活支援担当者あわせて 3 名の参加を予定していただけに残念であった。センターを空にしておけないという事情はあるにしてもわずか 1 日であるので考慮していただきたいところである。

成果の広報、公表

当日の様子は、翌日の静岡新聞朝刊の県内総合版で広く報道された。関係機関の方からも「記事を見た」と関心を示して下さっている。また県関係者からも「新聞で読んだ」と声を掛けていただいた。記事は県内総合版に掲載されたので各センターへの反響もあったようである。各センターへはそれぞれの広報誌や活動報告のなかで今回の研

修会について広報してもらうようお願いしたところである。

また近日中に研修会の内容と静岡県障害者就業・生活支援センター連絡協議会の概要をまとめた小冊子「静岡県障害者就業・生活支援センター第 1 回相談支援担当者研修会報告書」を作成し、各センターを通じ県内の行政機関、特別支援学校等、障害福祉サービス事業所、就労支援機関、相談センター、企業等に配布する予定である。

各センターで行っている企業向けの就労支援セミナーや商工会議所等の講座でも活用してもらうように考えている。

今後の展開

静岡県障害者就業・生活支援センター連絡協議会では今後毎年定期的に相談員研修会を開催していく予定である。各センターでは今後ますます支援が困難な事例が増えてくるものと思われる。困難なケースほど支援関係者が多くなり関係者間の調整が難しくなる。今後は、この調整を行なうケース会議を模したグループワークを研修会に取り入れ地域における障害者就業・生活支援センターの役割である調整機能の向上を図っていきたいと考えている。各地域で自立支援法による計画相談が進んでいくと障害福祉サービスを利用するうえで必須となるサービス担当者会議に（特に就労系のサービスにおいては）障害者就業・生活支援センターの参加は欠かせないだろう。また計画相談においては相談支援専門員の果たす役割が大きくなる。今後の相談員研修会では障害者就業・生活支援センターの相談担当者と相談支援専門員との意見交換やケース検討、サービス利用計画の作成等を行なっていくことも考えられる。

現在このような研修はなく静岡県障害者就業・生活支援センター連絡協議会で取り組んでいこうと思う。